

まち未来だより

1月 発行

宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場の跡地利用に関する取組みについてお伝えします。

普天間飛行場跡地まちづくり講座 **参加無料**

普天間飛行場跡地利用の検討は着々と進んでいます。返還後のまちづくりを進めるにあたっては市民及び、地権者の皆さまの参加がとても重要となります。皆さまと一緒に普天間飛行場跡地の未来をつかっていくために、まちづくりについて学べる講座を開催いたします。

『普天間飛行場返還後のまちづくりで大切なこと』

どなたでも参加できます！

～銘苅新都心自治会における地域コミュニティの形成と取組みを事例として～

米軍基地の跡地利用によって新しく創られたまち。そこは、先祖代々から受け継いだ土地を持つ地主、県内や県外から移り住む人、働きに来る人など、多様な人たちが暮らす場所となりました。新都心の居住者として開発後の地域づくりに積極的に取り組んでいる銘苅新都心自治会長の前原信達さんを講師にお招きして、「安心安全で住みよい環境としていくためには何が大切か」参加者の皆さまと一緒に考えていきます。

銘苅新都心自治会 会長
那覇市自治会長連合会 会長
前原 信達 氏



講師紹介

琉球大学名誉教授
NPO法人
沖縄の風景を愛する会理事長
池田 孝之 氏



沖縄における都市計画・地域づくりに関する研究に従事し、軍用地跡地利用をはじめ景観や交通等の幅広い分野で活躍。普天間飛行場跡地の跡地利用計画検討に都市計画の専門家として携わる。

日時 (予定)	場所 (予定)	内容 (予定)
1/18 (土) 14:00~16:00	宜野湾市役所 別館3階 第一会議室	講座(前原信達氏と池田孝之氏による対談) 銘苅新都心自治会の取組みを通してまちづくりで大切な地域コミュニティの作り方を学びます。
2/1 (土) 14:00~16:00	銘苅新都心地区 集合場所：ゆいレール おもろまち駅ペDESTリアン デッキ	フィールドワーク(前原信達氏による案内) 地域の歴史、文化、自然環境等について案内していただき、それらの地域資源がコミュニティの中でどのように活用されているのかを学びます。
2/15 (土) 14:00~16:00	宜野湾市役所 別館3階 第一会議室	意見交換(ワークショップ形式) 普天間飛行場の跡地利用における、『普天間飛行場返還後のまちづくりで大切なこと』について意見交換します。

●3回連続講座です。可能な限り全ての回へのご参加をお願いします。●開催場所・講座内容等については変更が生じる可能性もあります。あらかじめご了承ください。●開催が近づきましたら市ホームページにてご案内いたしますので、日時や会場等をご確認いただけますようお願い致します。

お問い合わせ 宜野湾市役所 まち未来課 電話：098-893-4401 (直通)
申し込み窓口 基地政策部 担当：東江、高良 メール：kichi01@city.ginowan.okinawa.jp

普天間飛行場跡地利用に関する「パネル展示会」

NB ミーティングの活動紹介や今年度実施している「まちあるき・意見交換会」の結果についての展示のほか、普天間飛行場返還後の跡地利用に関するPV放映を行いますので、ぜひお越しください。



昨年の様子 (宜野湾市役所1階市民ギャラリー)



展示箇所 2階フードコート前

期 間 / 会 場

令和2年 1月 14日(火)～1月 19日(日)
サンエー宜野湾コンベンションシティ

～周辺市街地から跡地利用計画を考える 大山区編～ まちあるき意見交換会

今回まちあるきを実施する大山区は、普天間飛行場と斜面部分で接しており、宜野湾横断道路の配置検討もされております。また、湧水や田イモの栽培など地域資源も豊富であることから、将来的な活用・保存などの議論が必要となる地域となります。みなさんもまちあるきや意見交換会を通して、大山区周辺の将来のまちづくりを一緒に考えてみませんか？

参加費 無料!!
※おにぎり・飲み物付

まちあるきルート	湧水	眺望	斜面緑地
日時/集合場所 令和2年 1月 25日(土) 集合9:00～解散12:00 大山小学校正門側駐車場(幼稚園側)			

参加を希望される際は、事前の申し込み(1月22日17:00まで)が必要となります。

お問い合わせ 事務局：宜野湾市 まち未来課 東江、高良 ☎098-893-4401
申し込み窓口 事務局支援業務受託者：昭和株式会社 崎山、佐々木 ☎098-876-5107

●考え方のヒント

「自分たちの地域と普天間飛行場の跡地利用との関係」を確認することは難しい気がしますが、市街地を中心とした将来構想図（図1）と普天間飛行場を中心とした跡地利用配置方針図（図2）を活用することで将来のまちをイメージし、現在の身近な地域のことも考えやすくなります。

▼将来構想図（図1）



出典：宜野湾市都市マスタープラン

▼普天間飛行場跡地の配置方針図（図2）



出典：全体計画の中間とりまとめ

●開催実施概要

項目	神山地域	新城区
日時	令和元年 7月 16日（火） 18：30～20：50	令和元年 9月 27日（金） 17：30～19：40
参加人数	26人	40人
テーマ	遺跡や地形環境、コミュニティ	将来計画における地域環境への影響
内容	・まちあるきを行いながら、気になるところを住民へ質問し、説明を頂いた。その後、神山郷友会事務所にてNBミーティングから参加者へ質問を投げかけ意見交換を行った。	・宜野湾市文化課より西普天間地区の旧道跡とイシジャーについて現場説明を受け、その後まちあるきを行いながら気になることを住民へ質問し、説明を頂いた。その後、新城区自治会事務所にてNBMから参加者へ質問を投げかけ意見交換を行った。
意見	・シンボル道路は水路、樹木の緑地帯は一部残し、公園等で活用した方がよい。 ・新しいまちづくりをする時には、先人達が住み続けてきた地勢や昔の景観や歴史を大切にしてほしい。 ・神山に住んでいる若い世代（40代位）は、飛行場返還後に新たなまちができれば、跡地にできるまちに移り住むと思う。	・西普天間地区の医療ゾーンに建つ建物の高さによっては、北谷への景観・眺望の妨げになる可能性がある。北谷への眺望は地域の資源である。 ・新城は西普天間地区と普天間基地跡地に囲まれた土地、交通量だけ増え新城区の価値が落ちるのでは。地域の付加価値が上がるようなまちづくりをしなくてはならない。 ・普天間飛行場内に土地があっても、現在の地域に愛着があるため返還後も地域に留まる。

神山地域の実施風景



新城区の実施風景



普天間飛行場跡地利用の市民検討組織の活動紹介

「ねたてのまちベースミーティング」

◆活動目的と今年度の取組み

本組織（略称：NB ミーティング）は、周辺市街地のまちづくりを含めた普天間飛行場の跡地利用を市民目線で考え、情報を発信し、基地返還後のまちづくりについて市民の興味・関心を高めるための活動を行っています。

本年度は、市民の関心事のひとつとして、現在住まいの地域が今後どのように変化していくのかということがあげられることから、「周辺市街地から考える普天間飛行場跡地利用」について考えていくことをテーマに取り組んでいます。具体的には、将来計画図等を活用して地域の「まちあるき」を行い、自分たちの地域と普天間飛行場の跡地利用がどのように関わっていくのかを確認し、また、意見交換を通して地域の課題や要望等の意見集約を行っています。これらの活動を通して地域を再確認することで、跡地利用計画に反映すべき点を地域にとりまとめていきます。



◆まちあるき

●地域の選定

まちあるき実施にあたり、基本的に普天間飛行場に接している地域から神山地域、新城区、大山区を選定いたしました。各地区のポイントとしては、神山地域では遺跡や地形環境、コミュニティを重点に考え、新城区は既に返還されまちづくりに向けて動き始めている西普天間住宅地区跡地と普天間飛行場に挟まれた地域であることから、両地区の計画による影響を大きく受けるためにまちあるきを実施しました。大山区については、1月開催予定です。（表面参照）

▼愛知ヌールガー



▼整備中の市道宜野湾11号線



【普天間旧道跡（西普天間住宅地区）】

